

今回のテーマ
「熊本天草幹線道路」の「宇土ー三角間」が、計画段階に入ります

県と熊本天草幹線道路沿線の6市町で構成する同整備促進期成会では、これまで5回にわたり、石井啓一国土交通大臣や地元選出の国会議員の皆さんに早期完成を訴えてきました。



石井国土交通大臣に要望書を渡す宇田憲史市長

この要望活動の結果、市内を通る「宇土ー三角間」が事業採択の第一段となる計画段階に入ることになりました。これにより、早期の事業着手に前進し、沿線市町の意向が反映されやすくなります。

熊本天草幹線道路は、天草市の旧本渡市街地と熊本市近見町とを

結ぶ全長約70キロメートルの幹線道路で、熊本都市圏と県内主要都市とを90分で結ぶ「90分構想」の一環として、国と県で整備が進められています。



熊本天草幹線道路計画図

昨年5月、本道路の一部として天城橋を含む「三角大矢野道路」3.7キロメートルが開通したものの、全体の計画における整備率は24%に留まっています。宇城市においても、今後も早期事業着手に向け、要望活動を重ねていきたいと考えています。

公益運用で1億円を上回る利益が生まれました

市の公金には支出に充てる「現金」の他に、特定の目的のために積み立てている「基金」があります。基金には、財源不足に備えるための「財政調整基金」、奨学金貸付のための「奨学基金」などさまざまな種類があり、資金不足になるときは、この基金を取り崩してやりくりしています。

公益運用とは、この現金や基金を、支払いや取り崩しに支障のない範囲で普通預金より金利の高い定期預金に預け入れたり、国債などの有価証券を購入し、購入時より高い金額で売却したりすること

で利益を得て、市の収入を増やすようにするものです。国債は、国が元本・利子の支払いを保証しているため、安全性が高いとされています。運用にあたっては、金利の変動や金融政策の影響が大きいので、常に情報収集をしながら、安全で効率的な運用を図っています。今回の運用実績は、次のとおりです。

債券を売却しました

購入時価格	5億9907万9000円
売却時価格	7億 247万6000円
差額＝売却益	1億 339万7000円

金融市場などの影響から市保有の債券価格が購入時より高騰していたため、なかでも流動性の高い(取引のしやすい)債権3件を、平成31年1月7日に売却しました。

※3月号でお知らせした「学校ICT整備平成31年度事業」は、次号で掲載する予定です。

ビジネスサポートセンターが開設1年を迎えました

開設1年を迎えた「宇城市ビジネスサポートセンター」は「夢のはじまりを応援する」拠点として、さまざまな挑戦を行ってきました。

1 ㈱あしたのチームを誘致 サテライトオフィス「宇城ランド」開設

中小企業向け人事評価制度の構築運用を行う㈱あしたのチームが、今年5月にサテライトオフィスを開設します。市内企業向けのセミナーの共催なども行っています。



協定調印式



共催セミナーの開催

3 テレワークや子育て事業 主婦ママの挑戦「一歩踏み出し、やりたいを叶える」

ビジネスサポートセンターの講座がきっかけとなり、主婦ママのテレワーカーや、子育て支援の事業を自ら立ち上げる人材も生まれてきています。



テレワーカー養成講座



受講者で企画したイベント



夢に向かって突き進んでいます

←の動画は
こちらから



2 各支援機関や企業と連携した事業の実施 「宇城市経営塾」など、約50の新規企画

㈱マミーゴー、熊本県中小企業診断士協会、熊本県信用保証協会、熊本第一信用金庫などと連携協定。崇城大学と連携したプログラミング教室なども実施。これまでに、延べ約600人が参加しました。



宇城市経営塾



採用力向上セミナー

起業・創業を目指すあなた
チャレンジショップを活用
しませんか。

詳しくは
こちらから

A種のコンテナを借りて
小さな雑貨屋さんを
始めてみよう！

B種のコンテナを借りて
手作りパン屋さんを
始めてみよう！

小川工高が「ものづくり地域支援」で手作りの本棚を設置

2月25日、小川工高の建築製作部の生徒7人が手作りの本棚(高さ1.9メートル、幅1.6メートル)2台をビジネスサポートセンターに設置しました。同校は、人に喜んでもらえるものづくりで地域に貢献しようと製品や教具を製作して提供したり、出前授業を行ったりしています。部長の河野令奈さん(17)は「実際に納品されるのを見ると、頑張った成果が、うれしい」とこやかに話していました。



本棚を製作した生徒たち(左)とビジネス書が収納された本棚(右)